

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31203	生涯学習概論 Theory of lifelong learning	前田 治	専門	2	選択	1・2年 後期
<b>科目の概要</b>						
生活デザイン科のディプロマ・ポリシーに基づき、人が生きていくため、自らの尊厳のため、社会を変えていくためなどの基となる生涯学習(学校教育・家庭教育・社会教育における学習を含む)の基本的な知識を身に付ける。そのために、生涯学習と社会教育の歴史・発達段階に応じた生涯学習について理解し、生涯学習の必要性を明らかにする。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 生涯学習の大切さや必要性について理解する。			① 生涯学習の大切さや必要性をレポートにまとめ、報告することができる。			
② 自分らしく生きるための自分自身の生涯学習計画(設計)を立てる。			② 自分の特長を知り、自分自身の生涯学習計画(設計)について発表することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	生涯学習社会に生きるうえで「必要なこと」について、図書館などの文献を活用し、自己学修することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	教職等、将来希望する職に就くという目標や、出題された課題に向かって、くじけずやり切ることができる。				
考え抜く力	課題発見力	生涯学習社会における課題について、客観的に整理し、見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	生涯学習社会に必要な「生涯学習設計」を創造し、計画的に作成できる。				
チームで働く力	発信力	生涯学習社会に生きていくうえで「必要なこと」を、人に分かりやすい的確な文章や口頭(発表で)伝えることができる。				
	傾聴力	生涯学習社会に生きていくうえで必要な「他者の意見を受け止めつつ自分の意見を言うこと」ができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	生涯学習社会に生きていくうえで必要な「最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:配付するワークシートがテキストとなります。 参考文献:その都度紹介します。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:図書館司書任用に関する科目 資格との関連:図書館司書						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習論Ⅱも履修することが望ましい。</li> <li>社会教育施設に出向き、関心をもっておくとよい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻3回を欠席1回に換算する。</li> <li>② 授業開始から30分以降は欠席とする。</li> <li>③ 授業中に私語が著しい場合は退席、欠席扱いとする。</li> <li>④ 授業中の携帯使用禁止とする。</li> </ul>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	30	①	✓	・生涯学習の定義と簡単な歴史的な流れを理解することができる。(第1～4週で扱った内容から、語句の穴埋めや簡単な用語の説明について、10問程度出題する)30点満点(20点以上・10～19点・5～9点)
		②		
レポート	15	①		・期日までに、少子高齢者問題と生涯学習の必要性との関連について、グループ討議を踏まえ、自分の意見をまとめたレポートを提出できる。(A4サイズ1枚程度、問題点と自分の意見を入れること)15点ABC3段階評価(10点以上・5～9点・3点)
		②	✓	
成果発表 (口頭・実技)	15	①		・「私の生涯学習設計」について、発表することができる。(表現の仕方・説明の分かりやすさ・独自性を評価する)15点ABC3段階評価(10点以上・5～9点・3点)
		②	✓	
作品	30	①		・自分の特長を知り、私の生涯学習設計を作ることができる。(完成度・分かりやすさ・独自性を評価する)30点ABC3段階評価(20点以上・10～19点・5～9点)
		②	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・ワークシートの内容に加え、文献を使って自己学修をすることができる。 (実行力) ・私の生涯学習設計の作成に積極的に取り組むことができる。 (課題発見力) ・立案した生涯学習設計の課題を発見し、修正することができる。 (創造力) ・よりよい生涯学習設計にするために、様々な面から設計を検討することができる。 (発信力) ・私の生涯学習設計について、分かりやすく説明することができる。 (傾聴力) ・質疑応答では、発表を聞き取ったうえで、自分の意見を述べるすることができる。 (規律性) ・近い将来、社会人になるにあたり、自分自身に厳しくルールを課すことができる。 ※上記の7項目は、規律性を重視し、全体を通して総合的に評価する ……10点
		②	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・生涯学習の定義等について小テストで20点以上とれる。 ・少子高齢化問題について自分の意見を踏まえ、分かりやすいレポートができる。 ・自分の特長を生かした分かりやすい「私の生涯設計」を作成し、発表できる。 (上記A基準を上回る内容であればSとする)	・生涯学習の定義等について小テストで10点以上とれる。 ・少子高齢化問題について学修内容を生かしたレポートができる。 ・自分の特長を生かした「私の生涯設計」を作成し、発表できる。 (上記B基準を下回る内容であればCとする)

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	・オリエンテーション 授業概要・授業のルール・評価方法を理解する。 ・生涯学習の定義 生涯学習とは何かについて考える。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	生涯学習の定義について、整理しワークシートに記述できる。	(復習)ワークシートの内容を復習しておく。講義ノートに本週のポイントをまとめておく(主体性)。	180	主体性
2週 /	・生涯学習と社会教育の歴史1 社会教育の創始期(明治～戦中)について知る。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	社会教育の創始期(明治～戦中)について、整理しワークシートに記述できる。	(復習)ワークシートの内容を復習しておく。講義ノートに本週のポイントをまとめておく(主体性)。	180	主体性
3週 /	・生涯学習と社会教育の歴史2 社会教育の展開期と停滞期(戦後～昭和60年代)について知る。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	社会教育の展開期と停滞期(戦後～昭和60年代)について、整理しワークシートに記述できる。	(復習)ワークシートの内容を復習しておく。講義ノートに本週のポイントをまとめておく(主体性)。	180	主体性
4週 /	・生涯学習と社会教育の歴史3 生涯学習の展開期(昭和63年～現在)について知る。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	生涯学習の展開期(昭和63年～現在)について、整理しワークシートに記述できる。	(復習)小テストに向けてこれまでのワークシートの内容と講義ノートの内容を復習しておく(主体性)。	180	主体性
5週 /	・発達段階に応じた生涯学習1 ハヴィガスト等の発達課題論を理解する。 青少年教育の課題について考え、理解する。	小テスト(1～4週の内容 45分) 講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	小テストに参加し、5点以上とれる。(語句の説明等第1週から4週の内容が理解できているか確認する)青少年教育の特徴や課題について、整理しワークシートに記述できる。	(復習)ワークシートの内容を復習しておく。講義ノートに本週のポイントをまとめておく(主体性)。	180	主体性
6週 /	・発達段階に応じた生涯学習2 成人教育の特徴や課題について考え、理解する。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	成人教育の特徴や課題について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)少子高齢者問題について、図書館等で概略を知っておく(主体性)。	180	主体性
7週 /	・発達段階に応じた生涯学習3 少子高齢者問題と生涯学習の必要性の関連について考え、理解する。	グループ討議 自分の考えを分かりやすく相手に伝える(発信力)。 少子高齢者問題と生涯学習の必要性について、どんな関連があるか話し合い、レポートにまとめる。(傾聴力・課題発見力)。	レポートを作成し、期日までに提出できる。	(復習)レポートを完成させる。 (予習)学社連携・学社融合について、調べ、講師の先生への質問事項をまとめておく。	90 90	発信力 傾聴力 課題発見力
8週 /	・生涯学習と学校教育1 学社連携から学社融合への理念の移行を理解する。	講義:特別講師 積極的に講師の話聞く(傾聴力・規律性)。 本授業のまとめの記入(フィードバック)	出席し講師の話聞くことができる。 講師の話の感想を期日までに提出できる。	(予習)不登校の事例について、どんなケースがあったか、図書館やインターネットで調べておく(主体性)。	180	傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・生涯学習と学校教育2 学校支援(学校評議員と学校評価、学校支援協議会、適応教室)の現状を考え、理解する。	講義 不登校の事例を通して考える。 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	学校支援(学校評議員と学校評価、学校支援協議会、適応教室)の現状について、整理しワークシートに記述できる。	(復習)ワークシートの内容を復習しておく。講義ノートに本週のポイントをまとめておく(主体性)。	180	主体性
10週 /	・生涯学習と職業 生涯学習に関する職業の内容と必要な資格について知る。	講義 ワークシート 本授業のまとめの記入(フィードバック)	生涯学習に関する職業の内容と必要な資格について、整理しワークシートに記述できる。	(予習)ソーシャルスキルトレーニングとは、具体的にどのようなものかを図書館等で調べておく(主体性)。	180	主体性
11週 /	・私の生涯学習設計1 ソーシャルスキルトレーニングの理論を活用し、自己分析を行う。	ワークシート 演習(ソーシャルスキルトレーニング) 本授業のまとめの記入(フィードバック)	自分自身を知ることができる。	(予習)私の生涯設計の概略を考えておく(主体性)。	180	主体性
12週 /	・私の生涯学習設計2 自己分析を生かし、私の生涯学習設計を作成する。	ワークシート 演習(設計作成) よりよい生涯学習設計を創造する(実行力・創造力)。 本授業のまとめの記入(フィードバック)	生涯学習設計を作成することができる。	(予習)作成した生涯学習設計をより分かりやすくするためにどうしたらいいか考えておく。	180	実行力 創造力
13週 /	・私の生涯学習設計3 私の生涯学習設計について発表する準備をする。	演習(設計作成) 12週で作成した設計を修正し、期日内に提出する(課題発見力)。 発表準備	生涯学習設計を完成させ期日までに提出することができる。 発表に向けて準備することができる。	(予習)聞き手に分かりやすい発表に向けて準備をする。	180	課題発見力
14週 /	・私の生涯学習設計4 私の生涯学習設計について発表する。	発表と質疑応答 分かりやすく発表する(発信力)。 発表をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	発表することができる。 他の発表を聴くことができる。	(予習)聞き手に分かりやすい発表に向けて準備をする。	180	発信力 傾聴力
15週 /	・私の生涯学習設計5 私の生涯学習設計について発表する。 ・学修のまとめ 学修のまとめとして、感想等をレポート「学修を終えて」にまとめる。	発表と質疑応答 分かりやすく発表する(発信力)。 発表をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。 レポート 生涯学習の重要性に触れながら感想にまとめる(実行力)。	発表することができる。 他の発表を聴くことができる。 本時間内に最終レポートを提出できる。	(復習)これまでに学修してきたことを復習しておく。	180	発信力 傾聴力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力